

様式 4

平成 27 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子工業高等学校

学校長 友松 文嗣

評価日	平成 28 年 2 月 23 日 (火)	
評価・提言		学校の所見・改善策等
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>① 学校自己評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・生徒・教職員に対して実施されている学校評価アンケートを踏まえて、適切かつ公正な自己評価が行われている。 <p>② 課題研究の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でテーマを決め、試行錯誤してやっていく過程が、職に就いた後も役立つ。 <p>③ 地域社会や小中学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓成小学校での駐車場のライン引きでは、作業内容の出来映えに加え、生徒の作業に取り組む姿勢が良く、小学生への良い模範となった。技術の習得だけでなく、作業態度・挨拶の仕方など細やかな指導が行われている。地域貢献活動を一層充実させるべきだ。 <p>④ キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップではその科に合った企業開拓を進める必要がある。 <p>(2) 説明・公表について</p> <p>① 広報誌「鵬翔」が読者の興味を引くように、読者目線で編集されている。</p> <p>② HP も適宜更新され、まちこみメールを P T A 役員向けや学年ごとに発信するなど情報発信も適切である。</p>	<p>学校評価アンケート・授業アンケートなどを通して、引き続き保護者や生徒の意見・要望を学校評価・学校運営に反映させていく。</p> <p>発表会の内容を工夫し、表現力の向上にも気を配る。</p> <p>地域の保育園・小学校・中学校との連携をより深めるとともに、実習で培った技能を今後も地域へ還元していく。</p> <p>専門性を生かせる企業開拓を今後も継続する。</p> <p>広報誌「鵬翔」やHPなどを通じた情報発信に工夫を凝らし、本校の教育活動を周知する。</p>	
<p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <p>学校の特色を十分生かした執行となっている。</p>	<p>学校裁量予算による特色ある学校運営に引き続き努めていく。</p>	
<p>3. 取組改善のための提言</p> <p>① キャリア教育につながる進路講演会を 3 年生が進路先を決定した後に行うと効果的ではないか。</p> <p>② P T A 活動の推進のため、各部会で議事録を作成し、議論の内容を会員に周知する。またすべての P T A 文書に発番を着ける。</p>	<p>年金セミナー、マナー講習会、法律教室などの取り組みを充実させ、実施時期も検討する</p> <p>議事録を作成し、すべての P T A の文書に発番をつける。</p>	